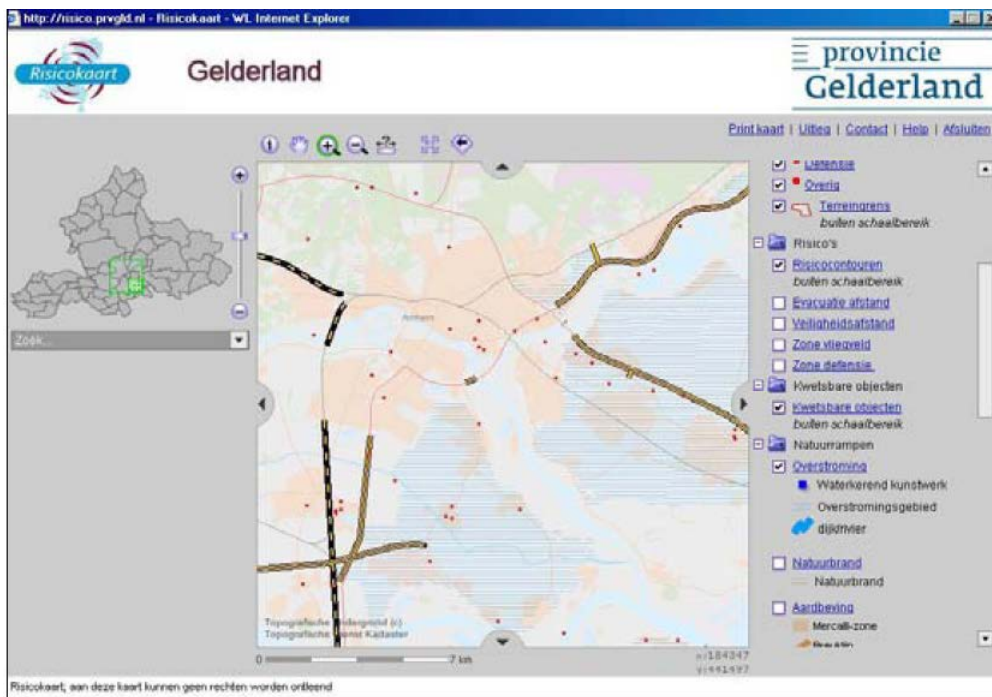


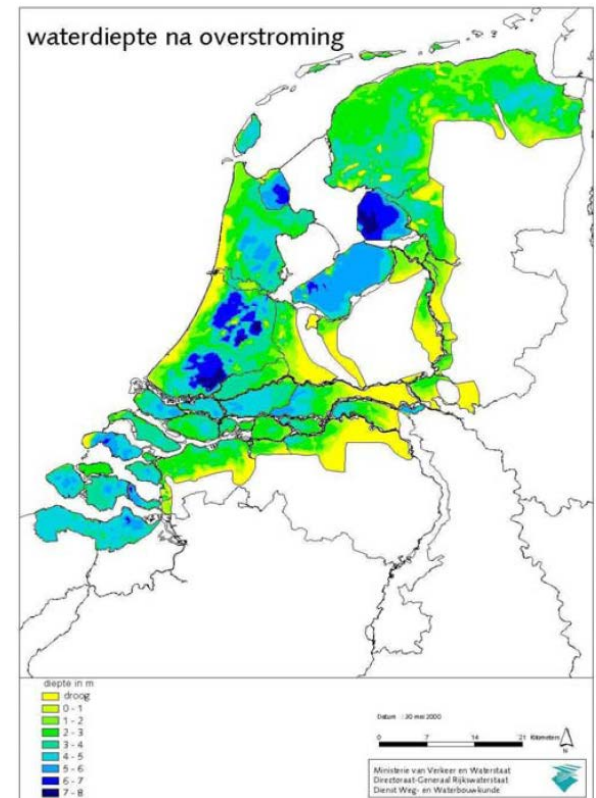
# オランダの洪水危険地図(1)

オランダでは公的な洪水地図がwebで一般公開され公的な使用に供されている。当該地図では年1/4,000を超える頻度で浸水深1mを超える範囲を洪水地域として表示(図1)している。図2は再現期間を問わずに最大浸水深を示したもので、最悪のケース(次頁参照)を示している。

オランダの主要河川の洪水対策は年1/1,250(堤外の村では同1/250)、国土中枢部の高潮対策は同1/10,000、中間の湾の高潮対策は同1/2,000、1/4,000である。<sup>\*1</sup>



© 2007 Netherlands Ministry of Transport, Public Works and Water Management  
 図1 オランダの洪水危険地図の例(ヘルダーランド州)<sup>\*1</sup>  
 水色横線: 洪水地域



© 2007 Netherlands Ministry of Transport, Public Works and Water Management  
 図2 オランダ全土の最大浸水深図<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> Jos van Alphen, Ron Passchier and Victor Jetten, RWS-RIKZ National Institute for Coastal and Marine Management, Netherlands, "Atlas of Flood Maps", pp4-80 – 4-82, 2007.

# オランダの洪水危険地図(2)

## ※最悪のケース

前頁図2に示した「最悪のケース」は次の仮定により設定している。<sup>\*1</sup>

(1) 輪中堤内の土地は堤防等により分割されていないものとする(輪中堤等のどこかが破堤等すると輪中堤内の土地は全て浸水)。

(2) 輪中堤内の水位は最も低い堤防の天端高さと同じとする。

(3) 輪中堤内全てを浸水させるのに十分な水が流入するものとする。

なお、傾斜地においては浸水深を1mとし、輪中堤の上流端から浸水するものと仮定する。(下図参照)

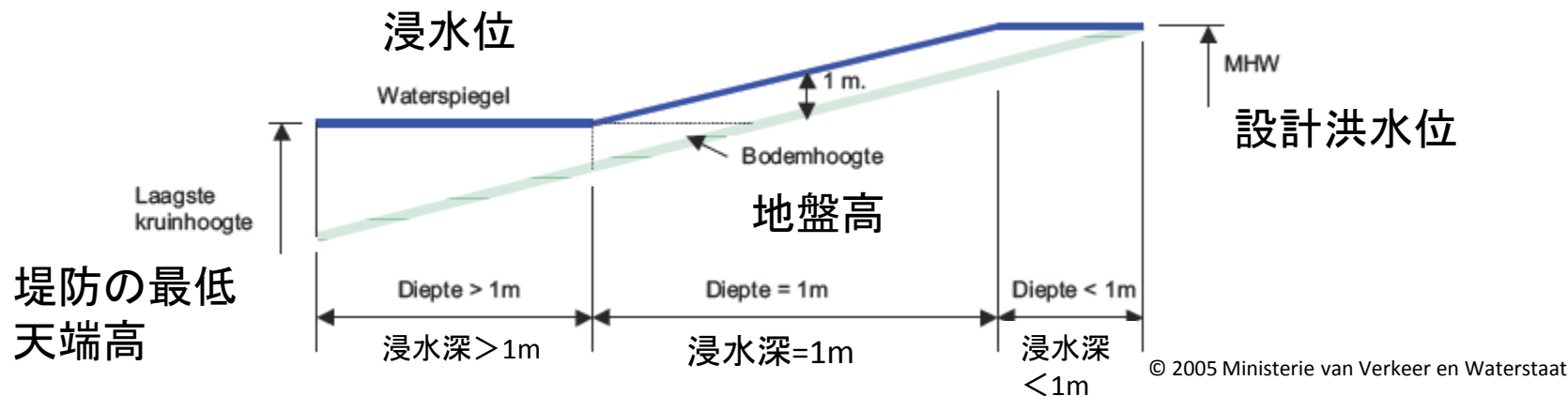
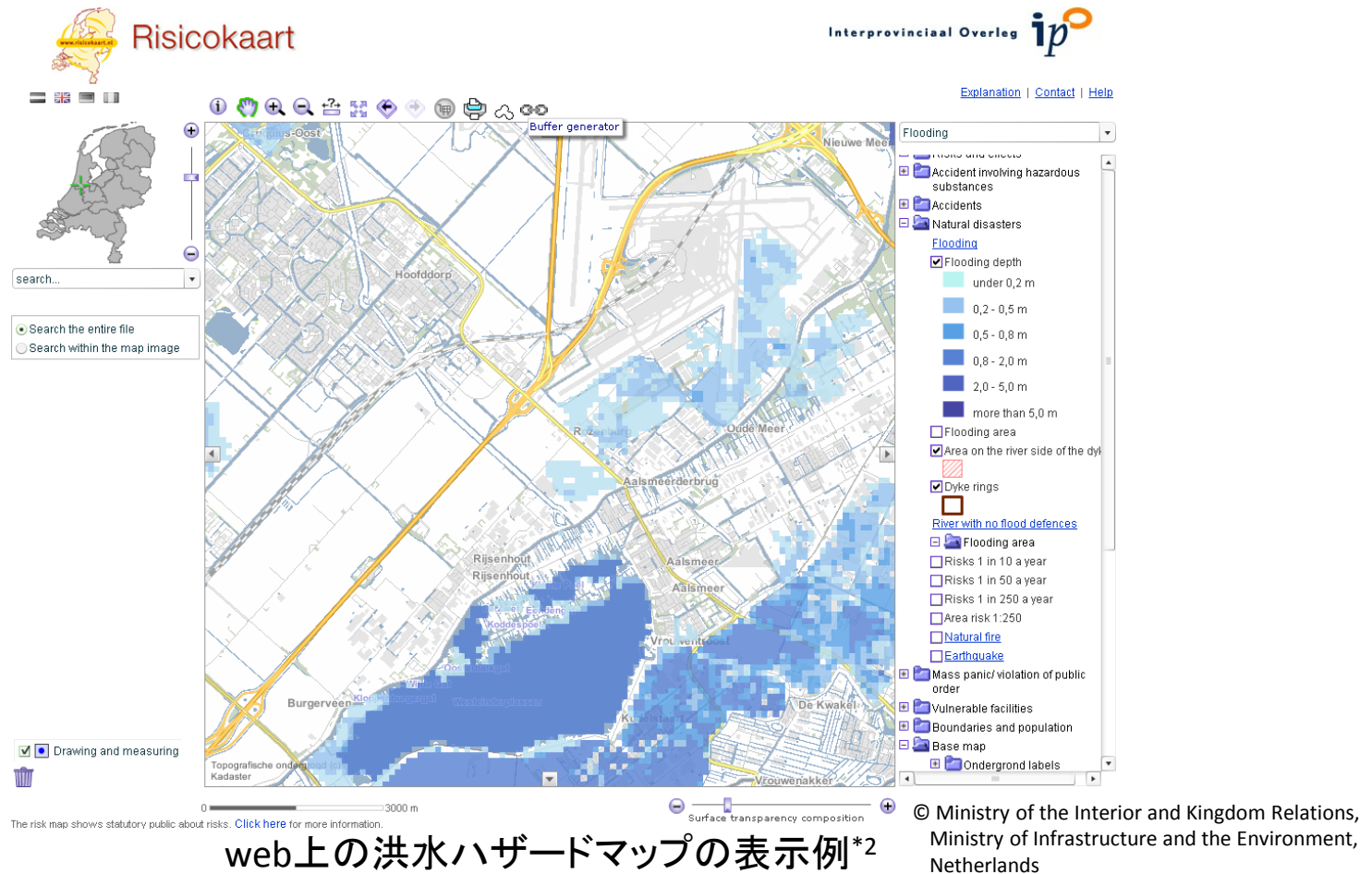


図 最悪のケースの浸水位設定概念図<sup>\*1</sup>

<sup>\*1</sup> Floris, "Floris study – Full report", pp. 23 – 24, 67 – 68, 2005.

# オランダの洪水危険地図(3)

2008年以降下記洪水ハザードマップがweb上で提供されている\*1。10、50、250年確率規模及び最大規模の浸水範囲及び浸水深の表示を選択できる\*2。なお、ミューズ川に係る最大規模の浸水範囲は1,250年確率規模洪水による浸水範囲である\*3。



\*1 Japan MLIT, Dutch Rijkswaterstaat, UK Environment Agency, USACE, "Flood Risk Management Approaches As Being Practiced in Japan, Netherlands, United Kingdom, and United States", pp.80, 2011.

\*2 Ministry of the Interior and Kingdom Relations, and Ministry of Infrastructure and the Environment, Riscokaart, <http://nederland.riscokaart.nl/riscokaart.html>, viewed on 28<sup>th</sup> Sept. 2012.

\*3 同上, [http://nederland.riscokaart.nl/riscokaart/legendaitleg\\_pub/en/overstroming\\_onbedijkt.html](http://nederland.riscokaart.nl/riscokaart/legendaitleg_pub/en/overstroming_onbedijkt.html), viewed on 28<sup>th</sup> Sept. 2012.